

日時 | 2025年 **10月18日** (土)
13:30 - 17:30

Cyber-Physical
Sustainability Center

会場 | 慶應義塾大学三田キャンパス
南校舎ホール(南校舎5階)
※オンライン配信あり

持続可能な サイバー・ フィジカル社会を考える

VR/ROBOTICS 講演会/CPS研究会 | 日英同時通訳あり

バーチャルリアリティ(VR)、メタバース、
ロボティクス、AI、インターネット、SNS・・・
新しい技術が発展して普及するまでの道のりを振り返り、
その先にどんな社会が待っているのか考えてみましょう。

Hosted By



君嶋 祐子

慶應義塾大学 法学部/
法学研究科 教授
サイバーフィジカル・
サステナビリティ・センター代表

研究対象は、特許権の成立要件、発明者の権利、著作権、不正競争、営業秘密、民事および行政訴訟法。近時、比較法観点から、特許無効手続、AIと法、データのシェアリング・所有、標準必須特許、特許侵害事件における証明責任等についてセミナー実施。

Guest Speakers



Scott Fisher

南カリフォルニア大学 教授
スクール・オブ・シネマティック・
アーツ モバイル&環境メディア
ラボディレクター

1980年代以来、VR（仮想現実）とAR（拡張現実）の先駆的研究に取り組み、NASAエイムズ研究所、アタリ研究所、MITメディアラボ、慶應義塾大学等で研究。特にNASAでの研究は今日の商用VR技術の基盤となっている。



野崎 貴裕

慶應義塾大学 理工学部
システムデザイン工学科
准教授

パワーエレクトロニクスや制御工学、ロボット工学を基盤学問として、電気飛行機、非接触給電、センシング技術、人工知能、医療用ロボット等に関する研究に従事。



福田 晃一

リテル株式会社
代表取締役社長

SNSやインフルエンサー、コミュニティ、AIといった先進的な手法を活用し、サービスやブランドの新たな価値創出と社会実装を支援している。

ABOUT US

サイバーフィジカル・サステナビリティ・センター（CPSセンター）ではVR技術、ロボティクス技術の進化が人々の生活にどのように受け入れられるのか、セミナーや体験会を通して人とサイバーフィジカル社会における持続可能性について研究しています。



お申し込みは
こちら



オンライン視聴
はこちら

PROGRAM

13:30 開会の挨拶

慶應義塾大学 法学部 教授 君嶋 祐子 CPSセンター代表

13:45 【講演1】 The History and Potential of XR for Human-Robot Interaction and Remote Presence Applications

Scott Fisher 南カリフォルニア大学 教授
スクール・オブ・シネマティック・アーツ
モバイル&環境メディアラボ ディレクター

14:35 【講演2】 人とロボットとのサステナブルな関係は可能か？ ～人とロボットが握手をするために～

野崎 貴裕 慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 准教授

15:15 【講演3】 社会受容としてのビジネスモデル

～SNSとメタバースのビジネスチャンスは？～

福田 晃一 リデル株式会社 代表取締役社長

15:45

休憩

16:00

パネルディスカッション

VR技術やロボット等の新しい技術が世の中に浸透するには？

登壇者 | Prof. Scott Fisher、野崎貴裕准教授、福田晃一社長

進行 | 稲熊律夫特任教授

17:15 閉会の挨拶

慶應義塾大学 法学部 教授 君嶋 祐子 CPSセンター代表

会場・アクセス

慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎ホール(南校舎5階)

東京都港区三田2-15-45

【交通アクセス】

- 田町駅(JR山手線/JR京浜東北線)徒歩8分
- 三田駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線)徒歩7分
- 赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線)徒歩8分

イベントの詳細やお問合せ先は
ホームページをご確認ください

